

北海道浮魚ニュース

平成 27(2015)年度 15号

2015年9月9日

道総研 水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ:

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

第1回北西太平洋サンマ中短期漁況予報発表される

9月9日に平成27年度第1回北西太平洋サンマ中短期漁況予報が漁業情報サービスセンターにより発表されました。中短期予報は、下記のホームページに以下の日程で公表されますので御覧下さい(北海道浮魚ニュースでは、本号にて「第1回の概要」と「公表スケジュール」の案内のみを行います)。第2回:9月18日、第3回:9月29日、第4回:10月9日、第5回:10月19日、第6回:10月29日、第7回:11月9日、第8回:11月19日、第9回:11月30日(日程は目安で、第9回は終漁時期により発表されない場合があります)。

一般社団法人漁業情報サービスセンターURL: <http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

国立研究開発法人水産総合研究センターURL: <http://abchan.job.affrc.go.jp/>

今後の見通し(2015年9月中旬~10月下旬)

予測期間:2015年9月中旬から10月下旬までの旬別

対象海域:道東海域、三陸海域

対象漁業:さんま棒受網漁業

対象魚群:南下回遊群

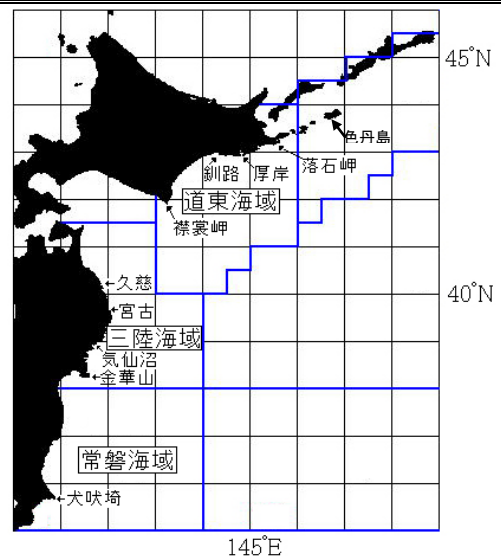
●道東海域

- ・来遊量:来遊量はゆるやかに増加し、9月中旬~下旬は低位水準であるが、10月上旬は中位水準となる。10月中旬から減少を始め、10月中旬~下旬は低位水準となる。

- ・漁場:9月中旬は、道東海域より北東側の色丹島南沖が主漁場である。道東海域では、9月中旬は落石南東沖に、9月下旬は落石南東沖~厚岸南沖に漁場が形成される。10月上旬は、落石南東沖~釧路南沖で漁場が持続し、襟裳岬沖にも断続的に漁場が形成する。10月中~下旬は、落石南沖~襟裳岬沖で漁場が持続する。

●三陸海域

- ・来遊量:10月中旬になると、低位水準ではあるが来遊がある。10月下旬は、来遊量は増加するものの、低位水準である。
- ・漁場:10月中旬は、三陸北部が漁場となる。10月下旬は、三陸南部まで漁場が広がる。



(釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)